

製品名: GDF-15 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11382**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	GDF15 GDF15; MIC1; PDF; PLAB; PTGFB; Growth/differentiation factor 15; GDF-15; Macrophage inhibitory cytokine 1; MIC-1; NSAID-activated gene 1 protein; NAG-1; NSAID-regulated gene 1 protein; NRG-1; Placental TGF-beta; Placental bone morphogenetic
別名	
遺伝子 ID	9518.0
SwissProt ID	Q99988
免疫原	抗血清はヒト GDF15 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

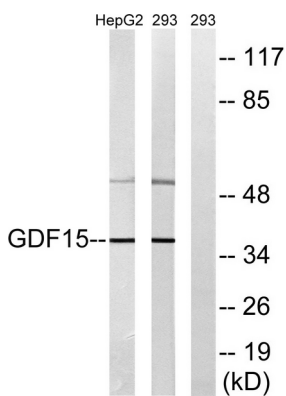
背景

成長分化因子 15 (GDF15) ホモサピエンスこの遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) タンパク質スーパーファミリーの分泌リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドはさまざまな TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化を引き起こします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって処理され、ジスルフィド結合したホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は幅広い細胞型で発現し、多面的サイトカインとして作用し、細胞損傷後の細胞のストレス応答プログラムに関与しています。タンパク質レベルの上昇は、組織低酸素症、炎症、急性損傷、酸化ストレスなどの疾患状態に関連しています。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]、類似性: TGF- β ファミリーに属します。、サブユニット: ホモ二量体;ジスルフィド結合型。組織特異性: 胎盤で高く発現し、前立腺と結腸では低く、腎臓ではいくらか発現する。

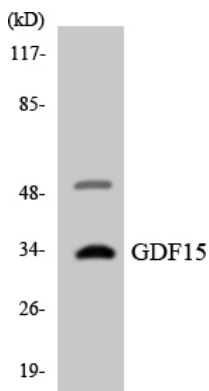
研究分野

細胞生物学

画像データ



GDF15 抗体を用いた 293 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GDF15 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



GDF-15 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。